



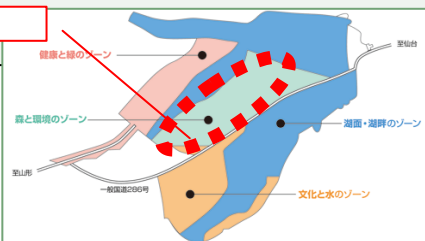
みちのく森の楽校(だより) 第4回

みちのく公園「里山地区」とは？

里山地区

公園区域の中央の釜房湖に突き出した半島で、雑木林とスギ・ヒノキの植林地におかれた里山です。豊かで特徴的な自然環境が多く残されていることから、これらの保全・活用と適切な利用に留意しながら平成26年度春の開園を目指しています。

これまで、ツリーハウスづくり、樹林地管理や観察会など、さまざまな試行活動を行ってきました。今年度は、7回シリーズの親子会員活動を行っています。



11月16日(土) 晴れ 午前：飯盒炊飯 午後：秋の里山お宝さがし

今日は第4回の会員活動。午前中は、お昼ご飯のための飯盒炊爨。お米を測り、水に浸した後は、薪集め、薪割り、火起こし、そしてやっと炊飯です。みんな美味しくできました！

秋の里山は紅葉がきれいで、落ち葉や木の実など、宝物がいっぱい落ちています。午後は、里山を歩きながら宝物探し。集めた宝物をレイアウトして、きれいなシートを作りました。

薪集め、薪割り

杉っ葉や枯れた小枝を拾い集めて焚き付けに、細い枝は切って薪にします。

問題は太い枝や幹、これは斧で割って薪にするのです。斧を使うコツをボランティアから教わってやってみました。コツは「斧を押し付けて割るのではなく、スナップを利かせて、斧の重さで割る」。

言うは易く、行うは難く。親子で力を合わせて薪割りをしました。



飯盒炊爨 (はんごうすいさん)

飯盒でご飯を炊くことを、飯盒炊飯(すいはん)ではなく飯盒炊爨(すいさん)というそうです。炊爨の爨は、爨ぐ(かしぐ=炊ぐ)という意味で、炊爨とは「煮炊きする・飯を炊く」ことをあらわします。

ということで、初めての飯盒炊爨の開始！

薪の用意ができたなら火起こし。杉っ葉に火をつけたら、小枝、細い薪、太い薪へと、だんだんに燃え移らせます。飯盒を火にかけたら、飯盒に集中！湯が吹きこぼれてきたら、そろそろ。炊き上がりは匂いで判断。吹きこぼれがなくなり、ご飯の焦げる匂いがしたら炊き上がり！



秋のお宝探し！

秋の里山を歩きながら、落ち葉や木の実などの宝物を探しました。

●12種類のさがすもの

- 赤いおち葉：2種類以上
- 黄色いおち葉：2種類以上
- 茶色のおち葉 2種類以上
- 変わった形の落ち葉
- くつつくタネ
- 風でとぶタネ
- 鳥や動物が食べそうな実
- ドングリ
- お気に入りのもの

やわらかな日差しを浴びて、色づいた木々が輝いていました。



里山を彩る紅葉

赤色

- ・イロハモミジ：里山地区のカエデの仲間では、もっとも普通にみられます。葉は5～9つに分かれ、やや荒い鋸歯があります。
- ・メグスリノギ：カエデの仲間とは思えない複葉の変ったカエデ。樹皮に目薬の効用があります。里山地区でも少なく、宮城県の準絶滅危惧に指定されています。

オレンジ色

- ・ウリハダカエデ：枝や若い幹の模様がウリの茎に似ています。葉も少しウリに似ています。日当たり具合によっては、真っ赤や黄色に染まります。

黄色

- ・イタヤカエデ：大木になるカエデで、葉には鋸歯がありません。葉の切れ込みが深いものをエンコウカエデ（猿甲楓）と呼んでいます。
- ・カジカエデ：カナダの国旗のカエデの葉に似ていますが、別種です。葉に毛があります。

褐色

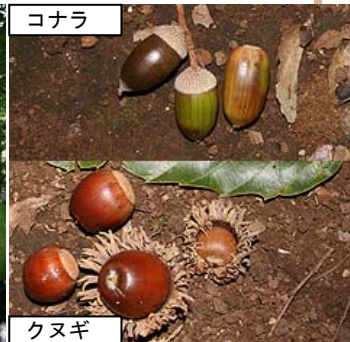
- ・ホオノギ：樹皮は灰白色、きめ細かく、裂け目がありません。葉は大きく、時に40cmにもなります。
- ・クヌギとコナラ：どちらも雑木林に生えています。クヌギの樹皮は厚いコルク状で、ごつごつして凹凸が激しく、コナラの樹皮は凹凸があってもあまりでこぼこしていません。葉は、コナラよりクヌギの方が長いのが特徴です。ドングリの形も違います。



クヌギ



コナラ



クヌギ

シートに貼りました！

集めた宝物を広げて、シートに貼りました。葉っぱを貼ってパウチをした後、木の実はビニル袋に入れてその上に貼り付けました。秋の里山が、色鮮やかなきれいなシートになりました。

